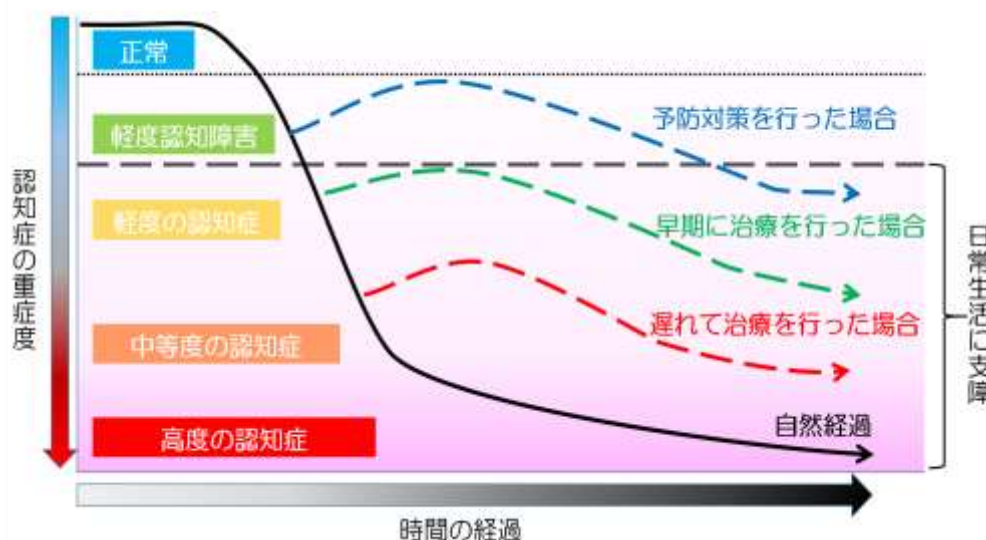


## 5人に1人になるかも!?認知症について

### 1：はじめに

認知症は、物忘れなどの認知機能障害により、日常生活に支障を来すようになった状態で、患者数は年々増えています。65歳以上の認知症患者数は、2025年には国内で約675万人（有病率18.5%）と、5人に1人程度の割合に達すると予測されています。認知症の原因となる病気はいくつかありますが、多くは根本的な治療法がありません。進行性の病気の為、時間の経過とともに症状が悪化します。しかし、**早期に発見し適切な予防策や治療を行えば、症状の進行を遅らせ、健康な時間を長くする事ができます。**今回は認知症の中でも67.6%と最も頻度が高いアルツハイマー型認知症について説明します。



### 2：アルツハイマー型認知症とは？

アルツハイマー型認知症では、記憶力の低下で始まり、日付・曜日や居場所がわからなくなる見当識障害、料理などの作業の要領が悪くなる実行機能障害、判断力の低下、言葉が円滑に出ないなどの症状がみられます。進行すると生活に支障が生じ、さらに進行して重症度が増すと摂食や意思疎通などにも障害が及び、寝たきりになるケースが多く見られます。原因としては、脳に「アミロイドβ」と呼ばれる異常なタンパク質が溜ることにより、神経細胞が壊れて脳が委縮し、脳の動きが低下すると考えられています。

### 3：アルツハイマー型認知症の治療薬は？

いったん発症すると、完全に回復する治療法が存在しないため、進行を遅延させる治療が柱になります。現在アルツハイマー型認知症に使われる薬は全部で4種類あり、作用の違いで2つに大別されます。

剤形	一般名	先発品名	主な作用	主な副作用
貼り薬	リバスチグミン	イクセロン <sup>®</sup>	(アセチル)コリンエステラーゼを阻害する	消化器症状 接触性皮膚炎 かゆみ など
		リバスタッチ <sup>®</sup>	※	
飲み薬	ドネペジル	アリセプト <sup>®</sup>	コリンエステラーゼとは、細胞同士の連結を助ける神経伝達物質のアセチルコリンを分解する作用を持つ酵素です。その働きを阻害することで、アセチルコリンを活性化させます。	悪心・嘔吐 食欲不振 下痢 など
	ガラントミン	レミニール <sup>®</sup>		
	メマンチン	メモリー <sup>®</sup>		

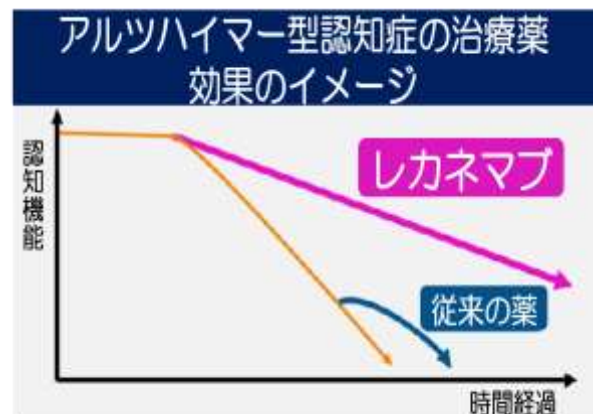
1つは、記憶・学習に関わるアセチルコリンの量を減らさないようにすることで、認知機能を改善させることが期待されるお薬です。もう1つは、グルタミン酸の過剰な活性化を抑えることで、神経細胞を保護することが期待されるお薬です。グルタミン酸は、通常時では情報伝達効率を高めて記憶や学習の手助けをしています。認知症の方の脳では、グルタミン酸神経系の過剰な活性化が起こり、神経細胞を傷つけているという状態になっています。

#### 4：最近のニュースでも取り上げられた、新たな作用の認知症治療薬「レカネマブ」

レカネマブの適応は、アルツハイマー病による軽度認知障害及び軽度の認知症の進行抑制となっています。

アルツハイマー型認知症の患者の脳に蓄積される異常なタンパク質のアミロイドβを取り除くことで、発症・進行を抑え、症状の悪化を防ぎます。

従来の治療薬はアルツハイマー型認知症になってから症状を抑える薬剤ですが、レカネマブは神経細胞が死滅する原因物質のアミロイドβの蓄積を防ぐことにより、アルツハイマー型認知症の進行自体を抑える薬剤として期待されています。



#### 5：レカネマブの使用について

2023年9月25日、レカネマブ（レケンビ<sup>®</sup>点滴静注）について、日本においてアルツハイマー型認知症治療薬として、製造販売承認を取得しました。

今後、保険適応や薬価について議論されるため、直近での使用はできませんが、近い将来に治療の選択肢に入ってくるかもしれません。

参考資料：

- ・認知症の診断と治療 | 大阪大学 老年・総合内科学 (osaka-u.ac.jp)
- ・認知症の症状を抑える抗認知症薬 | 介護用品レンタル ダスキンヘルスレント (duskin.jp)
- ・エーザイ株式会社 | ヒューマン・ヘルスケアのエーザイ (eisai.co.jp)
- ・アルツハイマー型認知症 | いっしょがいいね.com | 第一三共株式会社



文責：近藤智彦、關岡総司(実習生)